

チームオレンジ (認知症支援事業)

「VR認知症」体験会



VR認知症とは...

VRの技術を活用し、認知症の中核症状を一人称で体験するものです。

認知症になると想いを表に出しづらくなり、

代わりに起こす行動が“周囲には理解できないもの”と

映ってしまうことが多くあります。表面的な行動は

「徘徊」「帰宅願望」「入浴拒否」「暴力・暴言」などの

様々な言葉で表され、“認知症だから起こすもの”と思われがちです。

しかし、認知症がある方を取り巻く「問題」とされるものは、

ご本人の問題ではなく、ご本人を取り巻く周囲の

理解やコミュニケーションが大きく影響している

ことが多いということを、ご本人の視点を体験することで

理解につなげることを目的としたプログラムです。



要予約
参加無料

期間 9月10日(木)～9月13日(日)

場所 さかえすた 3F 地域ケアルーム

定員 各回最大4名※(先着順) ※各回により異なる
開催スケジュールの詳細は裏面をご覧ください

申込 8月12日(水)10時～お電話または窓口にて

さかえすた (栄区小菅ケ谷1-5-4)

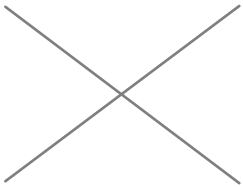
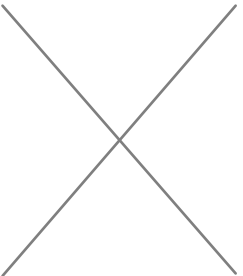
TEL: 045-392-5157

担当: 本郷台駅前地域ケアプラザ (長谷、熊谷)

申込時に頂いた内容は、講座連絡に関してのみ使用いたします



【開催スケジュールとプログラム】

	9/10(木)	9/11(金)	9/12(土)	9/13(日)
9:30～10:50		①②③	①②③	①②③
11:00～12:20		④⑤	④⑤	④⑤
～ 休 憩 ～				
13:00～14:20	①②③	①②③	①②③	⑥
14:30～15:50	④⑤	④⑤	④⑤	⑥
16:00～17:20	⑥	⑥	⑥	
17:30～18:50	①②③	①②③	①②③	
19:00～20:20	④⑤	④⑤	④⑤	

※多くの方にご参加いただくため、同一プログラムのご予約はお一人様1回のみとさせていただきます。

①私をどうするのですか？



距離感がつかめなくなる状況を再現。認知症がある方の『問題行動』とされるものには理由があることに気づく。(2分)

②レビー小体病幻視編



レビー小体型認知症の幻視を再現したコンテンツ。レビー小体病当事者の樋口直美さん完全監修。(5分)

③ここはどこですか？



電車でどこで降りるのかわからなくなる状況を体験するコンテンツ。症状がある方の気持ちを想像する力につなげる。(5分)

④やすおじいちゃん物語



やすおじいちゃんの視点で、家族とのかかわりを2パターン体験。関わり方が本人の心境や症状にどのような影響を及ぼすのかを体感。(10分)

⑤やすおじいちゃん物語～息子編～



やすおじいちゃんの息子の視点で、職場や近隣住民とのかかわりを2パターン体験し、職場の理解や地域づくりの重要性を体感。(10分)

⑥丹野智文物語



39歳で認知症と診断された丹野智文さんがモデルの物語。認知症がある方の側で周りの人たちは何ができるのかを具体的にイメージすることができるコンテンツ。(19分)